

# 3.11 をきっかけに ～防災資料～

鎌倉市図書館 パスファインダー 2012-No.3

鎌倉市中央図書館 2012年3月発行

## 1. このキーワードで探そう

防災を考えると、いろいろな切り口があります。

地震、津波、原発（原子力発電所）、内部被ばく、放射線、ハザードマップ、活断層、災害法制、廃棄物、耐震、免震、仮設住宅、リスク・コミュニケーション…

## 2. 書棚を直接探す

339.5 損害保険（地震保険）

369.3 災害・災害救助（震災・火災・風水害・水難救助）

453 地震学（地震誌・地震調査・地震観測・断層地震・地震津波・火山地震・地震予知）

455 地質学（地質構造・地震断層）

539 原子力工学（原子炉・核燃料・放射線・原子力発電・保守安全）

\*鎌倉に関する資料は、分類に「K1」がついています。

K1 291.3 鎌倉の地理・地誌、住宅地図、明細地図

K1 369.3 鎌倉のハザードマップなど、災害関係の地図

\*ハザードマップ：自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図にしたもの。  
災害予測図。

## 3. 地震・津波の歴史

資料名	著者	出版社	分類（場所）
『理科年表』第85冊（平成24年） *東日本大震災特集	国立天文台	丸善 2011.11	R403.6（中央、腰越、大船、玉縄）
『日本災害史』		吉川弘文館 2006	R369.3（中央）
『近現代日本気象災害史』	宮澤清治	イカロス出版 1999	451.9（腰越）

『昭和災害史事典 1 - 5』		日外アソシエーツ 1992～1995	R369.3 (中央)
『平成災害史事典』		日外アソシエーツ 1999, 2004, 2009	R369.3 (中央)
『世界災害史事典—1945-2009—』		日外アソシエーツ 2009	R369.3 (中央)
『日本列島の巨大地震』	尾池和夫	岩波書店*岩波科 学ライブラリー 2011.11月	453.2 (中央)
『神奈川県災害誌』		1971	K0-451.9 (中央)
『鎌倉震災誌』		鎌倉町役場 1930	K1-210.69 (中央)

#### 4. 原子力発電を考える

資料名	著者	出版社	分類 (場所)
『電力と国家』	佐高信	集英社 2011.10	540.9 (中央)
『新エネルギーが世界を変える—原子力 産業の終焉—』	広瀬隆	NHK 出版 2011.8	540.9 (深沢)
『原発・放射能図解データ』	プロジェクト トF	大月書店 2011.8	543.5 (中央)
『福島 原発と人びと』	広河隆一	岩波書店*岩波新 書 2011.11	543.5 (中央・玉縄)
『原発崩壊 樋口健二写真集』	樋口健二	合同出版 2011.8	543.5 (中央)
『原子力と報道』	中村政雄	中央公論新社*中 公新書ラクレ 2004	539 (全館)
『ルポ下北核半島—原発と基地と人々 —』	鎌田慧、 斉藤光政	岩波書店 2011.8	539.4 (腰越)

#### 5. 内部被ばく

資料名	著者	出版社	分類 (場所)
『いのちと放射能』	柳澤桂子	筑摩書房*ちくま 文庫 2007	539.6 (中央・玉縄)

『私たちは、なぜ放射線の話をするのか』	木元教子、 碧海西葵、 東嶋和子	WAC 2008	539.6 (中央)
『お母さんのための放射線防護知識—チェルノブイリ事故20年間の調査でわかったこと—』	高田純	医療科学社 2007	539.6 (中央)
『チェルノブイリから学んだお母さんのための放射能対策BOOK』	野呂美加	学陽書房 2011.9	539.6 (玉縄)
『「安全な食べもの」ってなんだろう？—放射線と食品のリスクを考える—』 畝山智香子／著	畝山智香子	日本評論社 2011.10	498.5 (中央)
『安斎育郎のやさしい放射能教室』	安斎育郎	合同出版 2011.12	539.6 (中央)
『人は放射線になぜ弱いのか—少しの放射線は心配無用—』	近藤宗平	講談社*ブルーバックス 1998	539.6 (中央)

## 6. 災害に備える

### (1) 一般向け

資料名	著者	出版社	分類 (場所)
『崩壊地名—自分で学べる防災の知恵』	小川豊	山海堂 1995	511.3 (中央書庫)
『この地名が危ない』	楠原佑介	幻冬舎 2011.12	291.0 (腰越)
『TSUNAMI—津波から生き延びるために』	沿岸技術研究センター	丸善プラネット 2008	369.3 (中央)
『災害情報とメディア 新版』	平塚千尋	リベルタ出版 2005	369.3 (中央)
『ハザードマップ—その作成と利用—』		日本測量協会 2005	369.3 (中央)
「鎌倉市津波浸水予測図 暫定版」 *「鎌倉防災マップ用防災施設関係資料」 の中に	鎌倉市	2012.3	K1-369.3 (中央・腰越・深沢)
「鎌倉市海拔マップ」 *「鎌倉防災マップ用防災施設関係資料」 の中に	鎌倉市	2011.8	K1-369.3 (中央・腰越・深沢)
「鎌倉市防災マップ」 *「鎌倉防災マップ用防災施設関係資料」 の中に	鎌倉市	1993	K1-369.3 (中央・腰越・深沢)

## 6. 災害に備える の続き

### (2) こどもといっしょに

資料名	著者	出版社	分類 (場所)
『危険から身を守る災害 状況別防災絵事典』		PHP 研究所 2005	J369 (中央・深沢・玉縄)
『ぼくの街に地震がきたー大震災シミュレーションコミックー』	名古屋裕、 国崎信江	ポプラ社 2006	J369 (中央・深沢)
『親子のための地震イツモノート キモチの防災マニュアル』	地震イツモ プロジェクト	ポプラ社 2011. 8	Y369 (中央) J369 (深沢)
『震度7ー新潟県中越地震を忘れないー』	松岡達英	ポプラ社 2005	J369 (全館)

## 7. 資料保存

資料名	著者	出版社	分類 (場所)
『PASSION』VOL. 33 November. 2011*特集 震災への取り組み		金剛 2011. 11	014. 7 (中央書庫)
大震災と歴史資料保存 阪神・淡路大震災から東日本大震災へ	奥村弘	吉川弘文館 2012. 2	014. 7 (中央)

## 8. インターネット

◎神奈川県ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/>

県土整備局 河川下水道部流域海岸企画課のページに最新の津波浸水予測図があります。

◎鎌倉市ホームページ <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/index.html>

防災のページに防災マップ・海拔マップ・ハザードマップがあります。

◎マピオン <http://www.mapion.co.jp/>

知りたい地点の標高(海拔)が簡単に分かります。知りたい地点に矢印を合わせて右クリックしてみてください。例えば中央図書館の玄関は、海拔10メートルだと分かります。